

特定企業調査報告書

(オリンパス株式会社編 サマリー)

株式会社AIRI

1. 会社概要

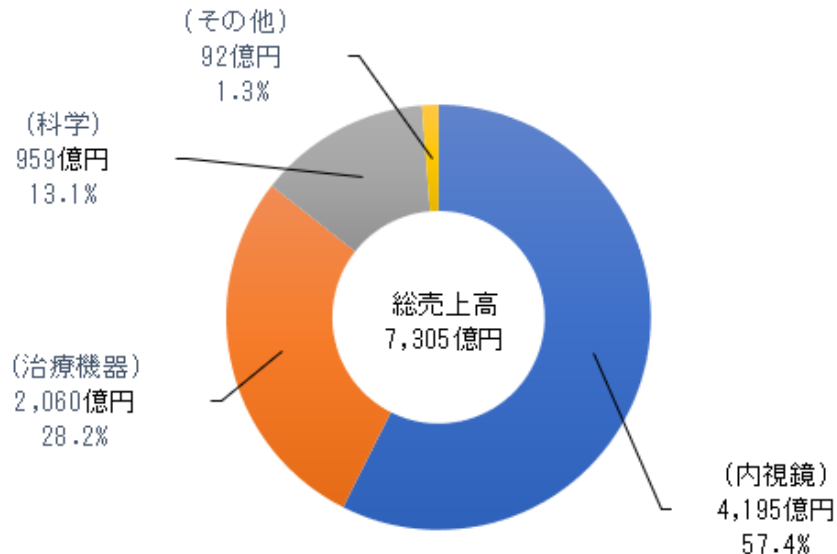
■オリンパス株式会社の概要

本社所在地	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
設立年月日	1919年10月12日
年間売上高	730,544百万円(2021年3月期:連結)
従業員数	31,653名(2021年3月現在:連結)

■オリンパスグループの業績推移(単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	7,406	7,865	7,939	7,552	7,306
経常利益	621	767	201	778	768
当期純利益	782	571	81	517	129

■オリンパスグループの事業別の業績(対外部顧客)



2. 事業概要

オリンパスグループの各事業分野の主な事業内容は以下のとおりです。

オリンパスグループは、オリンパス株式会社、子会社100社および関連会社3社で構成されており、内視鏡、治療機器、科学およびその他製品の製造販売を主な事業とし、さらに各事業に関連する持株会社および金融投資等の事業活動を展開しています。

オリンパスグループの主要製品は以下のとおりです。

(1) 内視鏡

消化器内視鏡、外科内視鏡、内視鏡システム、修理サービス

(2) 治療機器

内視鏡処置具、エネルギー・デバイス、泌尿器科・婦人科及び耳鼻咽喉科製品

(3) 科学

生物顕微鏡、工業用顕微鏡、工業用内視鏡、非破壊検査機器

(4) その他

生体材料 他

(5) 共通

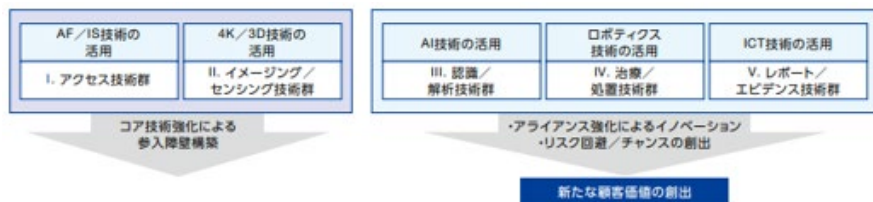
持株会社、金融投資

3. 研究開発情報

オリンパスグループは、経営理念の「私たちの存在意義」を「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」とし、持続的発展の実現を目指して、研究開発活動を行っています。

2019年に同社グループは、真のグローバル・メドテックカンパニーとして持続的な成長を実現するための新たな経営戦略、企業変革プラン「Transform Olympus」を発表しています。本経営戦略に基づき、同社グループは研究開発プロセスの革新に取り組んでおり、フロントローディング型研究開発の推進とアライアンスやオープンイノベーションによる必要技術の獲得により、開発スピードを向上させています。また、各研究開発テーマの費用を、収益性を考慮しながら最適化するとともに、プロジェクトの見極めも含めて優先順位付けをし、支出を適切にコントロールすることにより研究開発の効率性も改善していくとしています。

同社の顧客価値を生み出すワークフロー視点でまとめたコア技術群は以下のとおりです。



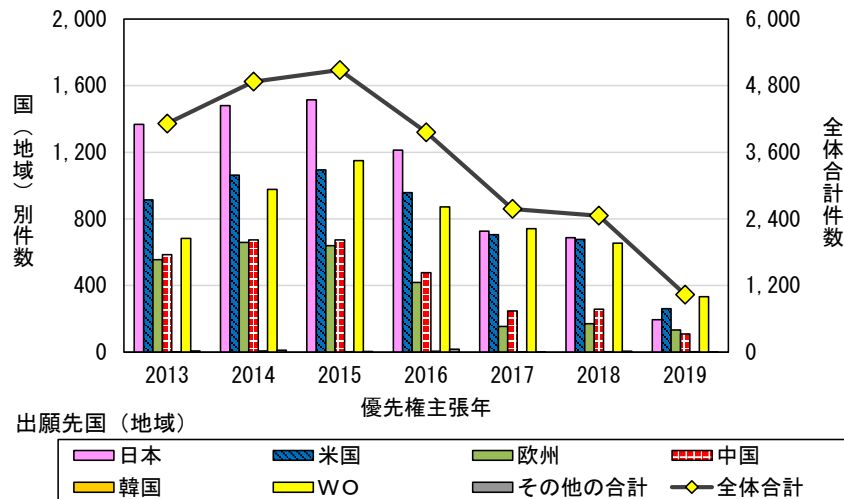
4. 知財情報

オリンパスグループの知財指標は以下のとおりです。

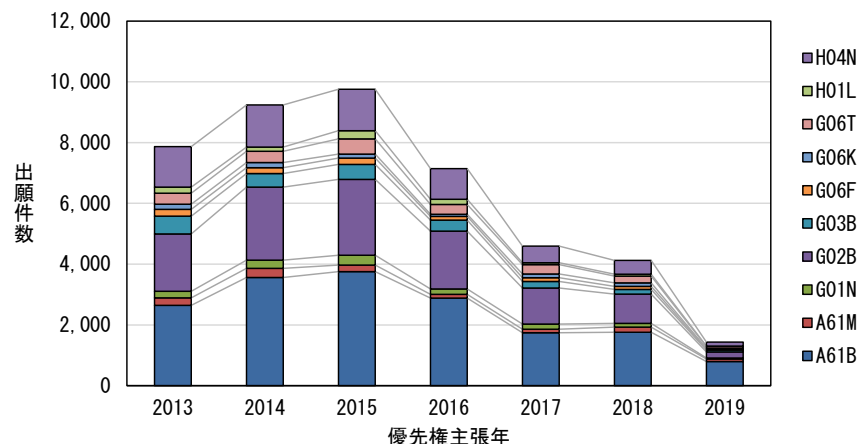
優先権主張年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
出願件数	3,961	2,580	2,457	1,036	411
開発費(百万円)	79,200	89,500	94,000	91,600	81,800
開発費(百万円)/出願	20.0	34.7	38.3	88.4	—

5. 各国・地域、IPCサブクラス別の特許出願動向

オリンパスグループの各国(地域)への特許出願件数は以下のとおりです。



オリンパスグループが出願した特許のIPCサブクラス上位10種の出願件数推移は以下のとおりです。

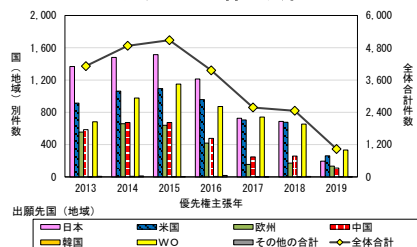


6. 競合企業の分析

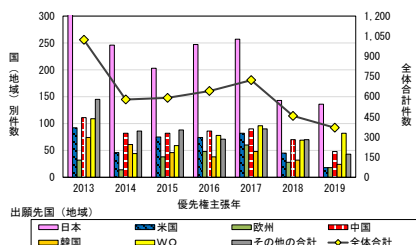
オリンパス株式会社及び競合他社4者について、日本、米国、欧州、中国、韓国、WO、及びその他を出願先国(地域)として、2013年から2019年までの各年の特許出願件数を調査した結果は以下のとおりです。

注)「その他の合計」とは、日本、米国、欧州、中国、韓国及びWO以外の国(地域)への出願件数の合計

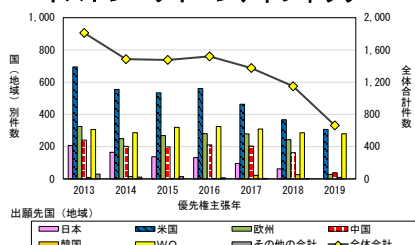
オリンパス株式会社



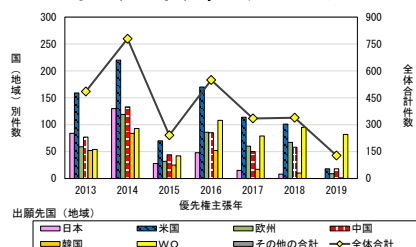
HOYA株式会社



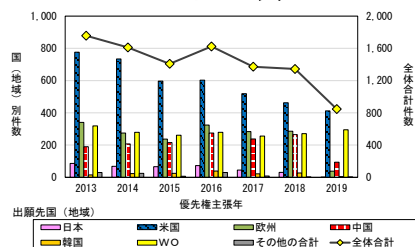
ボストン・サイエンティフィック



インテュイティブサージカル



メドトロニック



7. 注目特許

注目記事「顕微鏡用画像解析ソフトウェア「OLYMPUS Stream (オリンパス ストリーム)」にディープラーニングを活用した画像解析技術「TruAI (トゥルーエーアイ)」を搭載」に関連する特許。

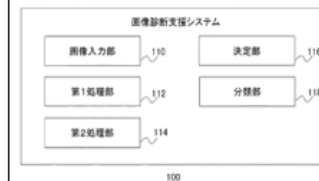
出願番号	特願 2020-533945
出願日	2018/7/31
公開番号	WO2020/026349A1
公開日	2020/2/6
特許番号	特許 6937438
登録日	2021/9/1
優先日	-
発明の名称	画像診断支援システムおよび画像診断支援方法
発明者	白谷 文行
出願人	オリンパス株式会社
国際特許分類 (IPC)	G06T7/60 A61B1/045 G06T7/00

特許出願の技術概要

【課題】本発明は、画像診断支援システムおよび画像診断支援装置において、検出した関心対象を含む関心領域を、教師付き学習によって分類(鑑別)する場合に、関心領域を高精度に分類するための課題や工夫について、より高精度に関心領域を分類できる技術に関する。

【解決手段】本発明の画像診断支援システムは、画像の入力を受け付ける入力部と、関心対象を含む関心領域を画像から検出し、検出された関心領域を分類して第1分類結果を出力する第1処理部と、関心領域に対してセマンティックセグメンテーションを実行し、その結果に基づいて関心領域を分類して第2分類結果を出力する第2処理部と、関心領域に関して所定の条件が成立する場合、第1分類結果が関心領域の分類として採用され、成立しない場合、第2分類結果が関心領域の分類として採用される。この画像診断支援システム100は、例えば、工業用の内視鏡により撮影された内視鏡画像を用いた金属表面の傷検査等を支援する場合にも適用できる。

代表図面



パテントファミリー	US2021118145A1 CN112437948A
審査経過情報	手続補正→特許査定
訴訟	見出せない

8. 業界相関図

オリンパス株式会社を取り巻く業界の相関図は以下のとおりです。

